

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.214 (2010年3月12日)

発行人・小松義明 編集人・齋藤英司

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう

3月12日(金) 自治労徳島県本部第81回臨時大会 13時30分
徳島県公務労協総決起集会 18時(あわぎんホール)

14日(日) syunto ふれあいファミリーデー(吉野川遊園地)

18日(木) 第3回役員推薦委員会 12時(連合徳島)
五役・執行委員会・地協代表者合同会議 13時30分

当面の
日程

経済4団体・労働局・県に要請行動実施



連合徳島と県春闘共闘会議は、3月1日に労働局、2日には経済4団体、徳島県に対し、2010春季生活闘争の重点課題である今春闘での労使交渉の促進や地域雇用対策の強化、公正なワークルールの確立、などを求める要請行動を行った。

小松会長は「労働者の犠牲の上に立った企業経営、経済政策が押し進められた結果、経済社会に様々な歪みが生じ、底割れとも言える状況になっている。コスト削減が競争力強化につながるという発想を転換する必要がある。定期昇給の確保や非正規労働者の待遇改善で内需を拡大し、デフレ不況を打開すべきだ。」とあ

いさつ。

続いて、齋藤事務局長から要請書の各項目について主旨説明を行うとともに、早急に適切な対策と労働行政の向上、監督行政のあり方について強く要請、意見交換を行った。

内容は、5,000円以上の賃上げ基準の尊重など春闘交渉の促進、雇用のセイフティネットへ向けた地域雇用対策の強化、公正なワークルールの確立、労働環境・条件の改善、労働者福祉政策の確立、仕事と家庭の両立支援、などの6項目。

徳島県要請

(3月2日)

労働局要請

(3月1日)



2010春闘勝利総決起集会を開催!



県春闘共闘会議・連合徳島は3月5日(金)18時から、徳島市藍場浜公園において「2010春季生活闘争勝利3・5徳島県総決起集会」を開催し、各構成組織から1,100人が参加した。

主催者を代表して小松議長は「今春闘は、定期昇給の確保と非正規労働者を含む全労働者の処遇改善を2本柱として取り組んでいる。長引く不況で労働側にとって厳しい状況ではあるが、すべての労働者が一丸となって闘い、着実な成果が上げられるよう取り組みを強化していこう」とあいさつ。

続いて、齋藤事務局長から2010春季生活闘争の方針と課題について提案し、全

体の拍手で確認した。

その後、決意表明(民間大手、民間中小、官公労、徳島・北部・東部地協)連合推薦議員団の紹介と代表して庄野県議、連合徳島で推薦決定している参議院選予定候補・吉田ます子民主党県連副代表から連帯のあいさつを受けた。

その後、「すべての働く者の雇用と生活の安定を求めるアピール」案を採択、最後に小松議長の音頭で団結ガンバローを三唱し、集会を締めくくった。

この後、参加者は「一方的な賃下げは許さないぞ」「働き方による差別は許さないぞ」などシュプレヒコールを上げながらデモ行進を行った。



